

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成26年4月22日（火）

3. 調査の対象

泉佐野市立第一小学校 第6学年，全児童
実施児童数（82人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

26年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- 平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層が少ない。
平均正答率（本校 72.0/泉佐野市 70.3/大阪府 70.7/全国 72.9）

「B区分問題」

- 平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にあるが、全国と比べて中上位層が少なく、下位層がやや多く分布している。
平均正答率（本校 50.5/泉佐野市 51.9/大阪府 52.6/全国 55.5）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問
<p>【書くこと】 ○複数の事柄を並列の関係で書くことに課題がある。 6一 「～たり，…たり」という表現に直して書く (66.3/74.9) ○仮定の表現として、適切なものを捉えることに課題がある。 6二 文の意味のつながりを捉え、適切なものを選択する (78.3/83.1) 7 話し合いの記録の仕方として適切なものを選択する (66.3/72.4) 8 言葉の意味と使い方を捉え、適切なものを選択する (68.7/74.3)</p>	<p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○学年別漢字配当表に示されている感じを正しく読むことは出題された漢字によって正答率に差があるものの概ねできている。 1一（1）道路の標識を見る（→ひょうしき） (89.2/91.7) 1一（2）街灯がつく（→がいとう） (85.5/87.0) 1二（1）料理を載せた<u>さら</u>を運ぶ（→皿） (98.8/97.8) 1二（2）勝利を<u>いわう</u>（→祝う） (65.1/59.3) ○故事成語の意味と使い方を理解することに課題がある。 2一（五十歩百歩） (45.8/55.8) 2二（百聞は一見にしかず） (39.8/49.9) 4 新聞の投書を読み、表現の仕方を捉えることは理解できている。(81.9/71.7)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】 ○立場を明確にして、質問や意見を述べることに課題がある。 1三 大野さん②の発言に対し、手書きの立場から質問か意見を書くことに課題がある。(20.5/28.3)</p> <p>【書くこと】 ○分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらに関係付けながらまとめて書くことに課題がある。 2二 付箋の内容を関係付けて、野口さんのまとめを書く (20.5/26.9) ○二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く。 3二 詩の解釈における着眼点の違いを捉えることはできている。(54.2/48.5) 3三 【詩1】と【詩2】を比べて読んで考えたことを書くことに課題がある。(30.1/48.1)</p>	<p>【読むこと】 ○課題を解決するために、目次や索引を活用して、本を効果的に読むことに課題がある。 2三 疑問を解決するために、目次や作品の中から必要となるページの番号を書く (55.4/66.0)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	69.5	59.2	○	10.3
国語の勉強は大切だと思いますか	92.7	91.8		0.9
国語の授業の内容はよく分かりますか	93.9	80.1	○	13.8
読書は好きですか	74.4	73.0		1.4
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.4	87.4		4.0
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	63.4	61.4		2.0
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	62.2	58.5		3.7
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか	70.7	70.7		0
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	83.0	75.8	◇	7.2
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。 （「最後まで解答を書こうと努力した」の割合）	68.3	76.1	◇	7.8

- 「読書は好きです」と感じている児童の割合が全国と比べて高く、また、昨年度と比べても高くなっている。(H25 65.5)
- 「国語の勉強は好きですか」児童の割合が全国と比べてかなり高いことは、国語科指導に効果が出ていると考えられる。(H25 50.6)
- 「国語の授業の内容がよく分かりますか」の児童の割合が全国と比べてかなり高いことは、国語科指導の効果が出ていると考えられる。(H25.77.8)
- 「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。」の設問に「最後まで解答を書こうと努力した」と答えた児童の割合が、全国と比べて低いことに課題があり、今後も児童が、根気強く問題に取り組むよう指導していかなければならない。(H25 67.9)

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく中位層がやや多く分布している。

平均正答率（本校 75.7/泉佐野市 75.9/大阪府 77.3/全国 78.1）

「B区分問題」

平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国に比べるとやや中低位層に偏りがある。

平均正答率（本校 57.7/泉佐野市 55.6/大阪府 56.3/全国 58.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○小数第1位までの減法の計算をすることができる 1 (3) $9-0.8$を計算する (86.7/83.8)</p> <p>○減法と乗法の混合した整数の計算ができる。 1 (5) $100-20 \times 4$を計算する。 (86.7/80.9)</p> <p>○割合が1より大きい場合、比較量の求め方が、(基準量) × (割合)になることを理解している。 2 (1) 示された図を基に、赤いテープの長さが白いテープの長さ(80cm)の1.2倍に当たるときの赤いテープの長さを求める式を選ぶ ((78.3/71.9)</p>	<p>【図形】</p> <p>○体積の単位(1cm^3)と測定について課題がある。 5 (2) 1cm^3の立方体を基に、示された直方体の体積を求める。 (73.5/81.1)</p> <p>○作図に用いられている図形の約束や性質を理解することに課題がある。 6 コンパスを使った平行四辺形のかき方について、用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ (33.7/52.0)</p> <p>9 正五角形の1辺の長さを□cm, まわりの長さを△cmとしたときの、□と△の関係を正しく表している式を選ぶ。 (72.3/82.0)</p>

算数B	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○示された場面から計算の結果の見通しをもち、(2位数) × (1位数)の筆算をすることは概ねできている。 1 (1) 示されたかけ算の中で積に同じ数字が並ぶものを選ぶ (97.6/94.6)</p> <p>○示された条件を基に、残った平面に4つの長方形を敷き詰める問題に課題がある。 5 (1) 畳の敷き方の約束を基に、残り四枚の長方形をおいた図をかく。 (58.5/65.7)</p> <p>【量と測定】</p> <p>○最大値に着目して、棒グラフの棒を枠の中に表すことができない理由を記述することに課題がある。 2 (2) 1目盛を50m^3として学校の水の使用量の表を棒グラフに表すとき、棒が縦20マスの枠の中に入らない月を選び、そのわけを書く (64.6/69.1)</p>	<p>○示された情報を基に、条件に合う時間を求めることに課題がある。 3 (1) 昨年の昼食時間を見直した時に、今年は準備の時間を何分間にすればよいかを書く (36.6/38.6)</p> <p>○示された情報を基に、必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述することに課題がある。 3 (3) 示された分け方でスープを分けたとき、残りの30人にスープを分けることができるかどうかを選び、そのわけを書く (36.6/30.6)</p> <p>【数量関係】</p> <p>○示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を記述することに課題がある。 5 (3) 妹の身長を基に、妹の使いやすい箸の長さの求め方を書く (31.7/33.0)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	58.5	66.1	◇	7.6
算数の勉強は大切だと思いますか	90.3	92.3		2.0
算数の授業の内容はよく分かりますか	79.3	79.6		0.3
算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか	78.1	77.3		0.8
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	80.5	78.1		2.4
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	69.5	66.3		3.2
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか	95.2	89.0	◇	6.2
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法はないか考えますか	79.3	79.4		0.1
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	79.3	81.3		2.0
算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか	85.3	83.4		1.6
今回の算数の問題について、言葉や式を使ってわけや求め方を書く問題がありましたが、どのように解答しましたか (「最後まで解答を書こうと努力した」の割合)	78.0	79.7		1.7

- 学習状況調査の中で、算数に関しては、全国と大きく隔たりがなく、ほぼ同じ傾向にある。
- 「算数の勉強は好きですか」に関しては、全国より低い値であり、今後、児童に興味のある授業づくりに取り組む必要がある。
- 「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」に関しては、昨年より9%以上肯定的意見が増加している。(H25 60.5)
- 「今回の算数の問題について、言葉や式を使ってわけや求め方を書く問題がありましたが、どのように解答しましたか」に関しては、昨年より5%以上肯定的意見が増加している。(H25 72.8)

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析(児童質問紙より)

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択(62問)で選ぶものは、選択肢1, 2と3, 4はそれぞれ同じ傾向と捉える。(例えば, 1. 当てはまる 2. どちらかといえば, 当てはまる 3. どちらかといえば, 当てはまらない 4. 当てはまらない)

また, それ以外の質問(12問)は特徴的な事柄を取り出し, それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で, 特徴的な項目を列挙した。さらに, 下線部に関しては, 10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国等との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校〈本校回答率/全国回答率〉
【家庭生活の様子】	○読書の習慣について, 全国を下回っている。 ○地域行事の参加率が低く, 全国を下回っている。	○学校の授業時間以外に, 普段(月~金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 読書しますか(教科書や参考書, 漫画や雑誌は除く) 30分以上<26.8 /38.2> ○今住んでいる地域の行事に参加している 51.1 /68.0
【家庭学習の様子】	○通塾率は, 全国を上回っている。 ○読書や図書館などに行く回数が全国より低い。 ○授業の復習は, 全国より頑張っている。	○学習塾(家庭教師を含む)で勉強していますか 通っていない<46.3 /52.1> ○昼休みや放課後, 学校が休みの日に本を読んだり借りたりするため, 学校図書館や地域の図書館にどれくらい行きますか。 週に1回以上行く<8.5 /18.7> ○家で学校の授業の復習をする 復習をしている<61.0 /54.0>
【学校での学習の様子】	○授業では, 自分の考えを発表する機会が多い。 ○授業では友達と考えを共有する時間を持っている。 ○長い文章を書くことが全国より苦手である。 ○分からないことを先生に聞くことが, 全国より, 聞きやすい雰囲気である	○5年生までに受けた授業では, 自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。 当てはまる<89.0 /83.7> ○5年生までに受けた授業では, 学級の友達との間で話し合う活動をよく行ったと思いますか。 当てはまる<92.7 /84.9> ○400字詰め原稿用紙2~3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。 思う<70.7 /63.4> ○授業で分からないことがあったら, どうすることが多いですか。 先生に聞く<36.6 /24.5>

本校の取り組み

◎これまでの取り組み

- ・ 火曜日、木曜日に朝学習を実施している。主に算数は、100ます計算などの基礎的な計算を中心に学習しています。また、国語は、スピーチなどコミュニケーションを養う取り組みを実施しています。
- ・ 教師の指導力を高めるため、すべての学年で研究授業を実施しています。また、不定期に職員の自主研修を実施し、研究教科以外の教科にも指導力向上を図っています。
- ・ 授業には、ペア学習やグループ学習を取り入れ、児童すべての意見が共有できるよう授業改善に取り組んでいます。
- ・ 校内独自のテストを4月と2月に実施し、児童の学力について分析活用しています。
- ・ 全国学力学習状況調査等の分析等を研究部が中心となり、全職員で検討し授業に生かしています。
- ・ 授業参観を年間5回と一日中いつでも参観できるフリー参観を2日実施し、保護者、地域の方々に児童の様子を参観していただいています。
- ・ 3年生から6年生において、少人数指導によるきめ細かな指導や児童一人ひとりの習熟度に応じて授業（主に算数）を行っています。

◎これからの取り組み

- ・ 上記の取り組みを継続し、更なる学力強化について、今年度実施した全国学力学習状況調査の分析を活用し授業に生かしていきます。
- ・ 本校の児童に不足していると思われる作文力向上のため、各教科で「書く」作業を多く取り入れ、その指導に取り組んでいきます。
- ・ 今求められている学力（活用力・応用力・コミュニケーション力・創造力等）をより一層高めるため、ICTの活用を高めていきます。
- ・ 読解力を高めるため、図書室の活用を推進する。また、読書の時間を全校一斉に取り、児童の読書に対する意識を高めていきます。
- ・ ノートのまとめ方や考えを書く作業についての指導を高めていきます。